

提出日 平成15年 1月16日  
整理番号=B I 0 9 7 P 1 0 4 8 特願平09-510523 頁: 1/ 1

【書類名】 意見書  
【整理番号】 BI097P1048  
【提出日】 平成15年 1月16日  
【あて先】 特許庁審判長 殿  
【事件の表示】  
【審判番号】 不服2001-16523  
【出願番号】 平成 9年特許願第510523号  
【審判請求人】  
【識別番号】 501364542  
【氏名又は名称】 アペックス・インコーポレーテッド  
【代理人】  
【識別番号】 100058479  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 鈴江 武彦  
【発送番号】 057376  
【意見の内容】 1  
【ブルーフの要否】 要

審判官殿は、本件出願は、請求項24および請求項25の発明の記載が不明瞭であり、また対応する詳細な説明の項の記載も不明瞭であるとして、特許法第36条第4項及び第6項に規定する要件を満たしていないとして拒絶されました。

審判官殿の上記ご指摘に対応すべく、審判請求人は請求項24および請求項25を削除しました。なお、これら請求項の削除に伴い、請求項26～請求項42を請求項24～請求項40繰り上げる補正を行いました。

請求項24および請求項25の削除は、最後の拒絶理由における補正の制限の条件を満足するものと理解します。

よって本件出願に関する拒絶理由は解消できたものと思量します。

従いまして、原査定を取り消しこの出願の発明は特許すべきものとするとの審決を賜りたく、お願い申し上げます。

以上

提出日 平成15年 1月16日  
 整理番号=BH097P1048 特願平09-510523 頁: 1/ 1

【書類名】 手続補正書  
 【整理番号】 BH097P1048  
 【提出日】 平成15年 1月16日  
 【あて先】 特許庁長官 殿  
 【事件の表示】  
     【審判番号】 不服2001-16523  
     【出願番号】 平成 9年特許願第510523号  
 【補正をする者】  
     【識別番号】 501364542  
     【氏名又は名称】 アベックス・インコーポレーテッド  
 【代理人】  
     【識別番号】 100058479  
     【弁理士】  
     【氏名又は名称】 鈴江 武彦  
 【発送番号】 057376  
 【補正により減少する請求項の数】 2  
 【手続補正 1】  
     【補正対象書類名】 明細書  
     【補正対象項目名】 特許請求の範囲  
     【補正方法】 変更  
     【補正の内容】 1  
 【プルーフの要否】 要

【特許請求の範囲】

【請求項1】 キーボード、マウスおよびビデオモニタを具備している多数のワークステーションを多数の遠隔地コンピュータシステムに接続するシステムにおいて、

ワークステーションに結合され、キーボードおよびマウスによって生成された電気信号を受信して、その電気信号を含む直列データパケットを生成する複数の第1の信号調整装置と、

第1の信号調整装置と中央交差点スイッチとの間に結合され、第1の信号調整装置により生成された前記直列データパケットを伝送する複数の第1の通信リンクと、

多数の双方向入力部および出力部を含んでおり、入力部から第1の通信リンクによって伝送された直列データパケットを受信し、前記出力部の1以上のものに直列データパケットを導く中央交差点スイッチと、

中央交差点スイッチに結合された複数の第2の通信リンクと、

それぞれ遠隔地コンピュータシステムに結合され、さらに前記複数の第2の通信リンクの1つに結合されて第2の通信リンクにより伝送された直列データパケットを受信し、遠隔地コンピュータのキーボードおよびマウス入力にそのデータパケットを供給し、また遠隔地コンピュータシステムによって生成されたビデオ信号を受信して、複数の第2の通信リンクの1つで中央交差点スイッチにそのビデオ信号を送信する複数の第2の信号調整装置とを具備し、

ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、また各第2の信号調整装置は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号のうちの2つに水平および垂直同期信号を符号化するエンコーダ回路を含んでいるシステム。

【請求項2】 ビデオ信号は水平および垂直同期信号の極性を示すモード信号を含み、エンコーダ回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号の1つにモード信号を符号化する請求項1記載のシステム。

【請求項3】 第1の信号調整装置は、赤色、緑色または青色ビデオ信号が

ら水平および垂直同期信号を分離するデコーダ回路を含んでいる請求項1記載のシステム。

【請求項4】 デコーダ回路は、赤色、緑色または青色ビデオ信号からモード信号を分離する請求項3記載のシステム。

【請求項5】 デコーダ回路は、復号されたモード信号に基づいて水平および垂直同期信号の極性を調節する回路を含んでいる請求項4記載のシステム。

【請求項6】 さらに、第1の信号調整装置に含まれ、ビデオモニタによって表示されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路を含んでいる請求項5記載のシステム。

【請求項7】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを多数の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

多数の入力部で受信された信号を多数の出力部に接続するプログラム可能な中央スイッチと、

ワークステーションのキーボードおよびカーソル制御装置によって生成された信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号を中央スイッチの入力部に送信し、またワークステーションのビデオモニタ上に表示される重畳されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、表示されたビデオ信号にตอบสนองして入力されたキーボードと、カーソル制御装置信号を検出する手段と、中央スイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号にตอบสนองして入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を中央スイッチに送信する手段とを含んでいる第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、中央スイッチの出力からキーボードおよびカーソル制御装置信号を受信して、キーボードおよびカーソル制御装置信号を遠隔地コンピュータに供給する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備しているシステム。

【請求項8】 第2の信号調整回路は、遠隔地コンピュータシステムによって生成されたビデオ信号を受信し、かつ第1の信号調整装置にビデオ信号を導く

中央スイッチにビデオ信号を送信し、第1の信号調整装置は中央スイッチからビデオ信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタにビデオ信号を供給する請求項7記載のシステム。

【請求項9】 遠隔地コンピュータによって生成されたビデオ信号は、赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、また各第2の信号調整回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号のうちの2つに水平および垂直同期信号を符号化するエンコーダ回路を含んでいる請求項8記載のシステム。

【請求項10】 ビデオ信号は水平および垂直同期信号の適切な極性を示すモード信号を含み、エンコーダ回路は、ビデオ信号が中央スイッチに送信される前に、赤色、緑色または青色ビデオ信号の1つにモード信号を符号化する請求項9記載のシステム。

【請求項11】 第1の信号調整装置は、赤色、緑色または青色ビデオ信号から水平および垂直同期信号を分離するデコーダ回路を備えている請求項10記載のシステム。

【請求項12】 デコーダ回路は、赤色、緑色または青色ビデオ信号からモード信号を分離する請求項11記載のシステム。

【請求項13】 デコーダ回路は、復号されたモード信号に基づいて水平および垂直同期信号を調節する回路を含んでいる請求項12記載のシステム。

【請求項14】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを1以上の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

ワークステーションから遠隔地に設置されたコンピュータにキーボードおよびカーソル制御信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くように切替えが制御されるスイッチと、

ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、前記切替えが制御されるスイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信してそれらキーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、そのビデオ信号を前記切替えが制御されるスイッチに送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

前記第1の信号調整回路は、

水平および垂直同期信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタ上にビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータから受信された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳された信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を前記切替えが制御されるスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項15】 さらに、同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路を含んでいる請求項14記載のシステム。

【請求項16】 さらに、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するよ

うに結合された入力を有している第2の組のバッファ回路と、

ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重量されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路とを含んでいる請求項14記載のシステム。

【請求項17】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを1以上の遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

ワークステーションから遠隔地に設置されたコンピュータにキーボードおよびカーソル制御信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータにより生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能な中央スイッチと、

ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御装置信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能な中央スイッチに送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能な中央スイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、キーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上にビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置

されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

同期スイッチによって選択された内部または外部水平または垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路と、

重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項18】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションを少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータに接続するシステムにおいて、

前記キーボードおよびカーソル制御装置から前記遠隔地に設置されたコンピュータに信号を導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、

ワークステーションにおいて生成されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信し、かつキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信されたキーボードおよびカーソル制御信号を受信して、キーボードおよびカーソル制御信号を遠隔地に設置されたコンピュータに供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれと中央スイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信して、ワークス

テーションのビデオモニタ上に重畳されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第2の組のバッファ回路と、

ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路と、

重畳されたビデオ信号に応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に  
応答して入力されたキーボードおよびカーソル制御信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項19】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションと、

少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータと、

ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、

ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信して、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上に重畳されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータから受信された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

重畳されたビデオ信号に応答してワークステーションからの信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に応答して入力された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項20】 さらに、同期スイッチによって選択された内部または外部

水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路を含んでいる請求項19記載のシステム。

【請求項21】 さらに、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するように結合された入力を有している第2の組のバッファ回路と、

ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路とを含んでいる請求項19記載のシステム。

【請求項22】 キーボードと、カーソル制御装置と、ビデオモニタとを具備しているワークステーションと、

少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータと、

ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、

ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信し、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信して、ワークステーションのビデオモニタ上に重畳されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路と、

重畳されたビデオ信号に応答して生成されたワークステーションからの信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に応答して生成された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備しているシステム。

【請求項23】 キーボード、カーソル制御装置およびビデオモニタを含むタイプのワークステーションと、

少なくとも1つの遠隔地に設置されたコンピュータと、

ワークステーションから受信された信号を遠隔地に設置されたコンピュータに導き、かつ遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号をワークステーションに導くプログラム可能なスイッチと、

ワークステーションにおいて生成された信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチに信号を送信する第1の信号調整回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータに結合され、プログラム可能なスイッチから送信された信号を受信し、遠隔地に設置されたコンピュータに信号を供給し、また遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信し、かつプログラム可能なスイッチにビデオ信号を送信する第2の信号調整回路と、

前記第1および第2の信号調整回路のそれぞれとプログラム可能なスイッチとの間で信号を伝送させる手段とを具備し、

前記第1の信号調整回路は、水平および垂直同期信号を受信してワークステーションのビデオモニタ上に重畳されるビデオ信号を生成するスクリーン上プログラミング回路と、

内部水平および垂直同期信号を発生する信号発生器と、

信号発生器によって生成された内部水平および垂直同期信号と遠隔地に設置されたコンピュータによって生成された外部水平および垂直同期信号とを受信するように結合され、スクリーン上プログラミング回路に供給されるべき内部または外部のいずれかの水平および垂直同期信号を選択するように動作する同期スイッチと、

同期スイッチによって選択された内部または外部水平および垂直同期信号を受信して、選択された水平および垂直同期信号を活性ロー論理レベルに変換する同期ボラライザ回路と、

遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第1の組のバッファ回路と、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号を受信するように結合された入力と、ワークステーションのビデオモニタに結合された出力とを有している第2の組のバッファ回路と、

ワークステーションのビデオモニタに供給されるビデオ信号が、遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号であるか、スクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号であるか、或は遠隔地に設置されたコンピュータによって生成されたビデオ信号とスクリーン上プログラミング回路によって生成された重畳されるビデオ信号の両方であるかのいずれかであるように、第1および第2の組のバッファ回路を動作させる制御論理回路と、

重畳されたビデオ信号に応答してワークステーションで生成された信号を検出する手段と、

プログラム可能なスイッチの動作を制御するために重畳されたビデオ信号に  
応答して生成された信号をプログラム可能なスイッチに送信する手段とを具備し  
ているシステム。

【請求項24】 各キーボードおよび複数のコンピュータのアナログビデオ  
出力のそれぞれ独立した専用ケーブルに物理的に同時に接続されるコンピュータ  
側のインターフェイスと、

第1のキーボードおよび第1のモニタのアナログビデオ入力の独立した専用ケ  
ーブルの第1のセットに物理的に接続されたユーザ側のインターフェイスと、

コンピュータ側のインターフェイスを通して複数のコンピュータの1つからア  
ナログビデオ信号を受信するためのコンピュータ側のインターフェイスに接続さ  
れたアナログビデオ受信回路と、

スイッチングシステムの内部でアナログオーバーレイビデオ信号を生成するよう  
にコンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置  
されたアナログビデオオーバーレイイメージ生成回路と、

(1) アナログビデオ受信回路によって受信されたアナログビデオ信号の一部  
分と、(2) ユーザ側のインターフェイスを介して第1のモニタに対する出力で  
ある結合されたアナログ信号を形成するスイッチングシステムの内部で生成され  
たアナログオーバーレイビデオ信号とを結合するためのコンピュータ側のインター  
フェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置されたアナログビデオオー  
ーレイ回路を具備しているスイッチングシステム。

【請求項25】 アナログビデオ受信回路がさらに複数のコンピュータの1  
つからアナログビデオ信号と対応する水平および垂直同期信号の1つを検出する  
ための同期信号検出回路を具備している請求項24記載のシステム。

【請求項26】 コンピュータ側のインターフェイスはさらに複数のコンピ  
ュータのマウスポートとの間で信号を送受信するためのコンピュータ側マウスイ  
ンターフェイスを具備し、ユーザ側のインターフェイスはさらに第1のコンピ  
ュータマウスとの間で信号を送受信するためのユーザ側マウスインターフェイスを  
具備している請求項24記載のシステム。

【請求項27】 アナログビデオオーバーレイ回路は(1) アナログビデオ受

信回路によって受信されたアナログビデオ信号の一部分と(2)フレームバッファを必要とせずにスイッチングシステム内部で生成したアナログオーバーレイビデオ信号とを多重化するためのマルチプレクサを具備している請求項24記載のシステム。

【請求項28】 さらにユーザ側のインターフェイスで使用された第1のフォーマットからコンピュータ側のインターフェイスで使用された第2のフォーマットへキーボードコードを変換するためのコンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスとの間に配置されたキーボード変換器を具備している請求項24記載のシステム。

【請求項29】 アナログビデオ受信回路は分離したアナログ赤色、緑色、および青色信号を受信する請求項24記載のシステム。

【請求項30】 アナログビデオ受信回路は実時間アナログビデオ信号を受信するための受信回路を具備している請求項25記載のシステム。

【請求項31】 アナログビデオ受信回路は実時間アナログビデオ信号上に重畳された水平および垂直同期信号の少なくとも一方を含む実時間アナログビデオ信号を受信するための受信回路を具備している請求項25記載のシステム。

【請求項32】 アナログビデオ受信回路は、分離したアナログ赤色、緑色および青色信号を受信する請求項30記載のシステム。

【請求項33】 アナログビデオ受信回路は、分離したアナログ赤色、緑色および青色信号を受信する請求項31記載のシステム。

【請求項34】 デジタル背面部材とアナログ背面部材とをさらに具備し、キーボード情報はアナログ背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスまでの経路が設定されるアナログビデオ信号とは独立してデジタル背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路が設定されている請求項24記載のシステム。

【請求項35】 コンピュータ側のインターフェイスがコンピュータ側のインターフェイスに並列に複数のコンピュータを接続するための並列スイッチを具備している請求項24記載のシステム。

【請求項36】 ユーザ側のインターフェイスはさらに第2のキーボードお

よび第2のモニタのアナログビデオ入力の独立した専用ケーブルの第2のセットに接続するための第2のユーザインターフェイスを具備して、複数のコンピュータのいずれかのアナログビデオ信号は並列に第1および第2のモニタの両方に同時に導かれる請求項24記載のシステム。

【請求項37】 コンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置され、複数のコンピュータの1つのアナログビデオ信号が複数のコンピュータの別のコンピュータのアナログビデオ信号によって置き換えられるように第1のキーボードが要求したときそれを検出するキーボードコマンド検出器を具備している請求項24記載のシステム。

【請求項38】 デジタル背面部材とアナログ背面部材とをさらに具備し、キーボード情報は、アナログ背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定されたアナログビデオ信号とは独立してデジタル背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定される請求項37記載のシステム。

【請求項39】 コンピュータ側のインターフェイスとユーザ側のインターフェイスの間に配置され、ユーザ側のインターフェイスを介して第1のモニタに対する出力である結合されたアナログ信号に応答して複数のコンピュータの1つのアナログビデオ信号が複数のコンピュータの別のコンピュータのアナログビデオ信号によって置き換えられるように第1のキーボードが要求したときにそれを検出するキーボードコマンド検出器を具備している請求項24記載のシステム。

【請求項40】 デジタル背面部材とアナログ背面部材とをさらに具備し、キーボード情報は、アナログ背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定されたアナログビデオ信号とは無関係にデジタル背面部材上でコンピュータ側のインターフェイスからユーザ側のインターフェイスへの経路を設定される請求項39記載のシステム。

整理番号

発送番号 007580

発送日 平成15年 2月12日 1 / 2

## 審決

不服2001-16523

アメリカ合衆国、ワシントン州 98052、レッドモンド、ウィロウズ・ロード・エヌ・イー 9911

請求人 アペックス・インコーポレーテッド

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮特許綜合法律事務所内  
代理人弁理士 鈴江 武彦

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮特許綜合法律事務所内  
代理人弁理士 村松 貞男

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮特許綜合法律事務所内  
代理人弁理士 橋本 良郎

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮特許綜合法律事務所内  
代理人弁理士 白根 俊郎

平成 9年特許願第510523号「コンピュータ接続システム」拒絶査定に対する審判事件〔平成 9年 3月 6日国際公開、WO97/08625、平成10年 9月14日国内公表、特表平10-509545、請求項の数(40)〕について、次のとおり審決する。

### 結 論

原査定を取り消す。

本願の発明は、特許すべきものとする。

### 理 由

本願は、平成 8年 8月22日（パリ条約による優先権主張 1995年 8月25日（US）アメリカ合衆国）の出願であって、その請求項に係る発明は、特許請求の範囲の請求項に記載された事項により特定されたとおりのものであると認める。

そして、本願については、原査定の拒絶理由を検討してもその理由によって拒絶すべきものとする事はできない。

また、他に本願を拒絶すべき理由を発見しない。

よって、結論のとおり審決する。

平成15年 1月28日

審判長	特許庁審判官	川寄 健
	特許庁審判官	吉村 宅衛
	特許庁審判官	千葉 輝久

---

[審決分類] P18 . 121-WY (G06F)  
536  
537

---

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成15年 2月 6日 審判書記官 片岡 香

注意：この書面を受け取った日から30日以内に特許料の納付が必要です。

Change of  
Name 9/9/99

郵便はがき

97P10K



100

東京都

住所 千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮内外

國特許事務所内

氏名 鈴江 武彦

殿

外 04 名 000005847

出願番号通知

平成09年12月16日

\*は審査請求があるものです。くわしくは裏面を御覧下さい。 特許庁長官

審査請求	法別	出願番号	出願日
*	1	09-510523	08.08.22
国際出願番号			
PCT/US96/13772			

出願人

アベックス・ピーシー・ソリューションズ・インコーポレーテッド

## 名称変更届

平成11年9月 9 日

特許庁長官 近藤 隆彦 殿

### 1. 事件の表示

特願平9-510523号

### 2. 名称を変更した者

事件との関係 特許出願人

住所 アメリカ合衆国、ワシントン州 98072、ウッドインビル、ワ  
ンハンドレッドフォーティーセカンド・アベニュー・エヌ・イー  
ー 20031

旧名称 アペックス・ピーシー・ソリューションズ・インコーポレーテッド

新名称 アペックス・インコーポレーテッド

### 3. 代理人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号  
鈴榮内外國特許法律事務所内  
〒100 電話03(3502)3181 (大代表)

氏 名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦  
(ほか4名)

copy name  
9/9/99

## 名称変更届

平成11年9月 9 日

特許庁長官 近藤 隆彦 殿

### 1. 事件の表示

特願平9-510523号

### 2. 名称を変更した者

事件との関係 特許出願人

住所 アメリカ合衆国、ワシントン州 98072、ウッドインビル、ワ  
ンハンドレッドフォーティーセカンド・アベニュー・エヌ・イー  
ー 20031

旧名称 アペックス・ピーシー・ソリューションズ・インコーポレーテッド  
新名称 アペックス・インコーポレーテッド

### 3. 代理人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号  
鈴榮内外國特許法律事務所内  
〒100 電話03(3502)3181 (大代表)

氏 名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦  
(ほか4名)

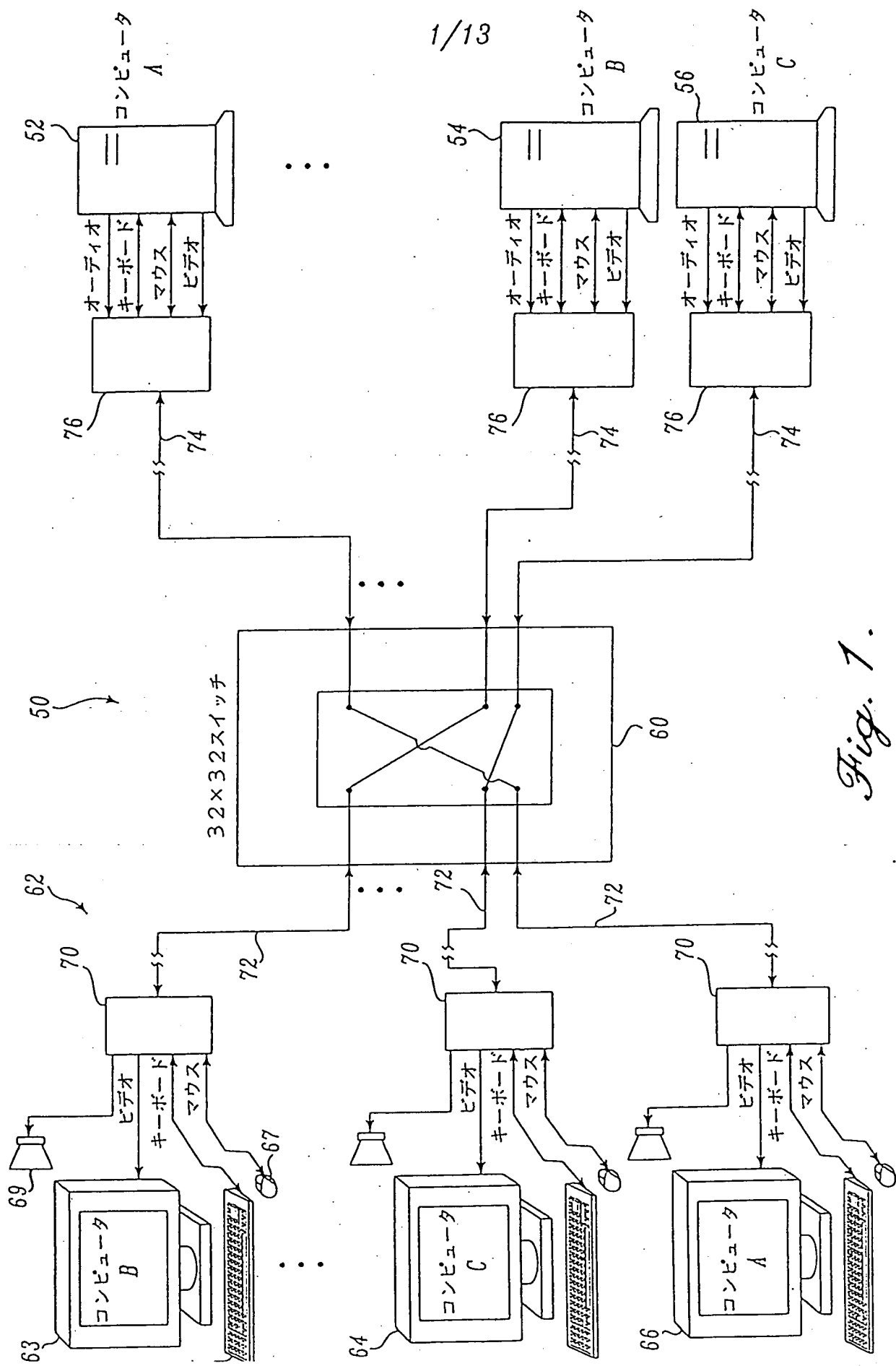


Fig. 1.

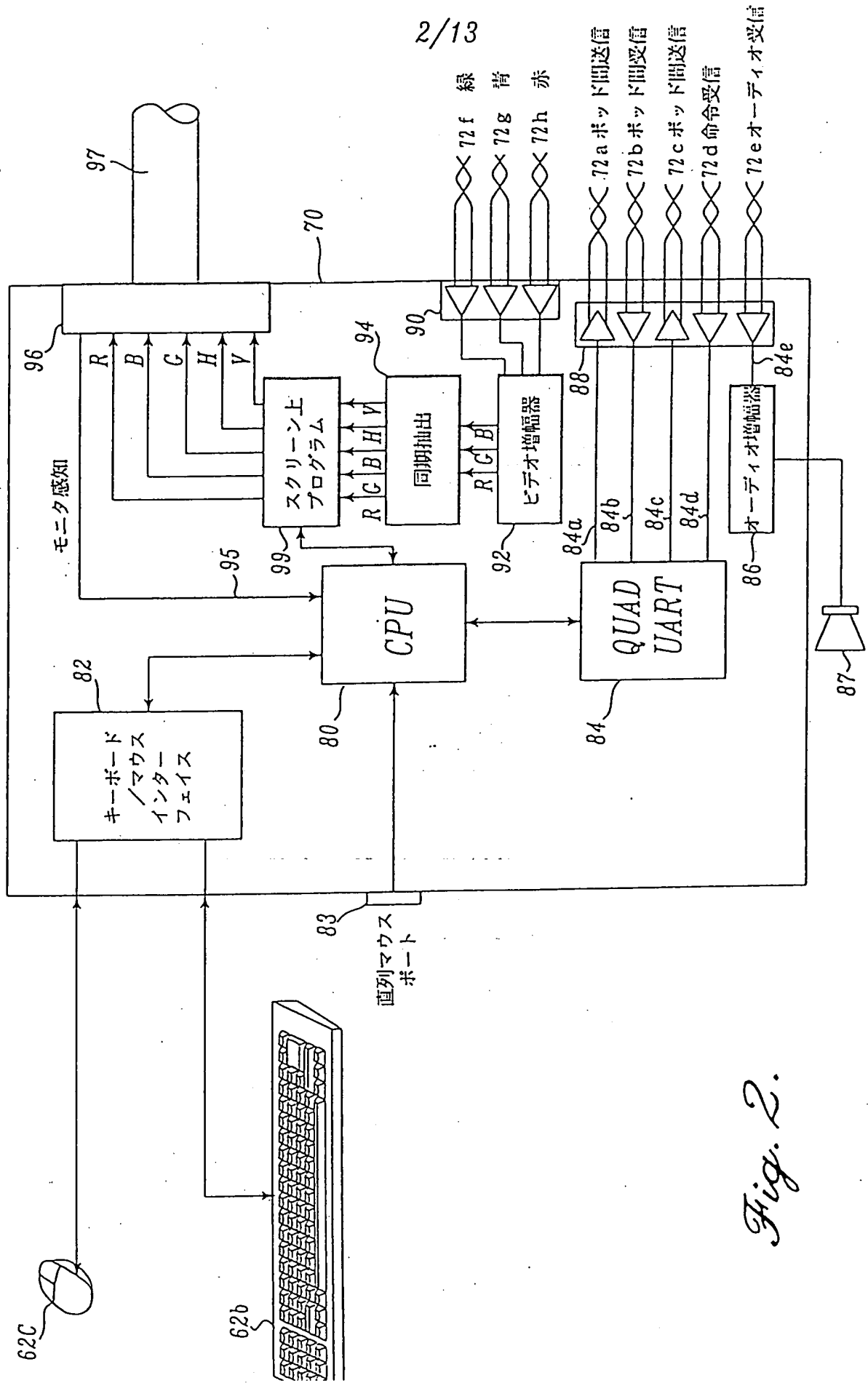


Fig. 2.

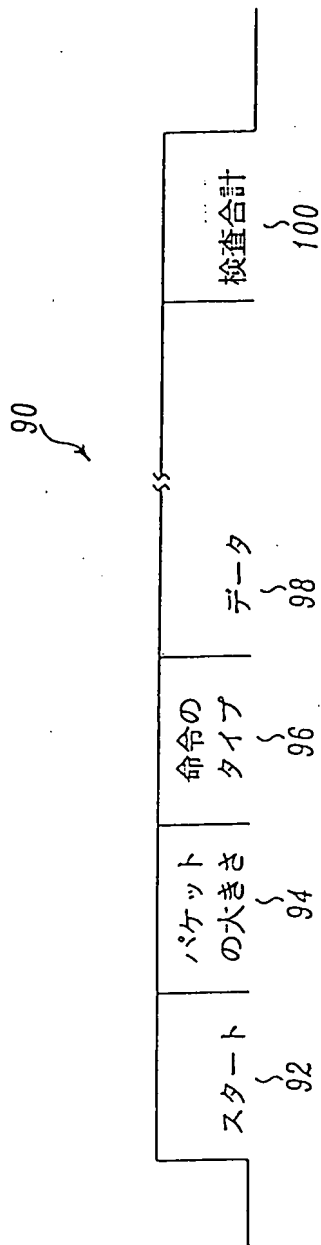


Fig. 2A.

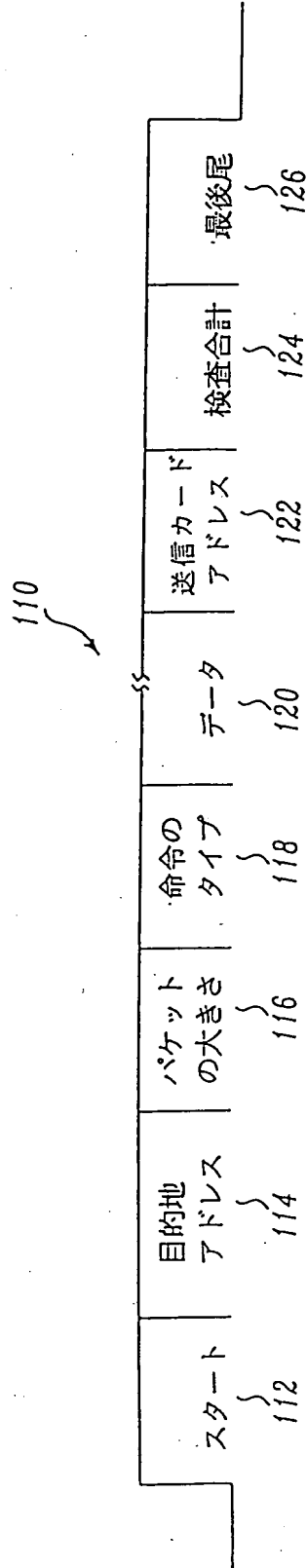


Fig. 2B.

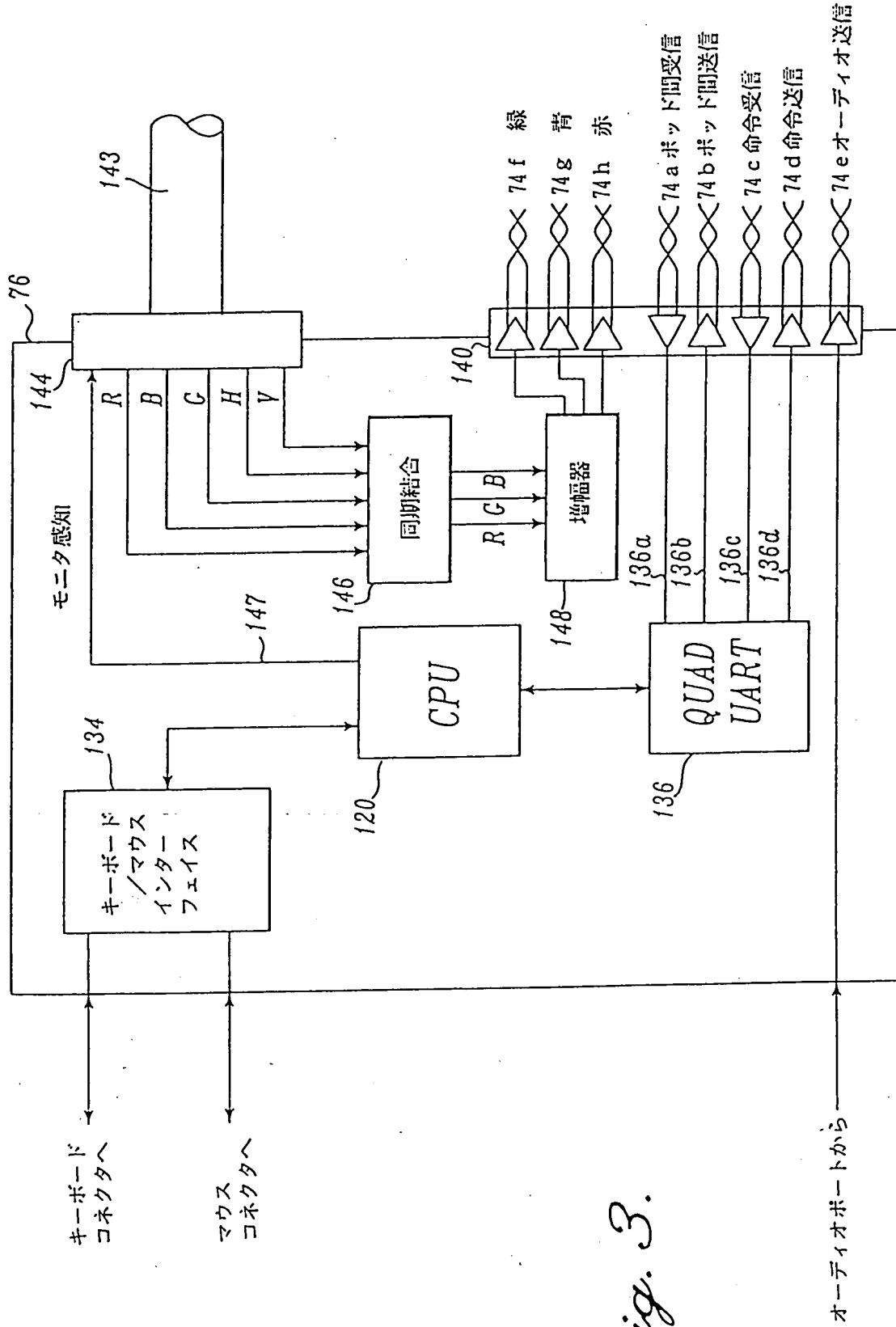


Fig. 3.

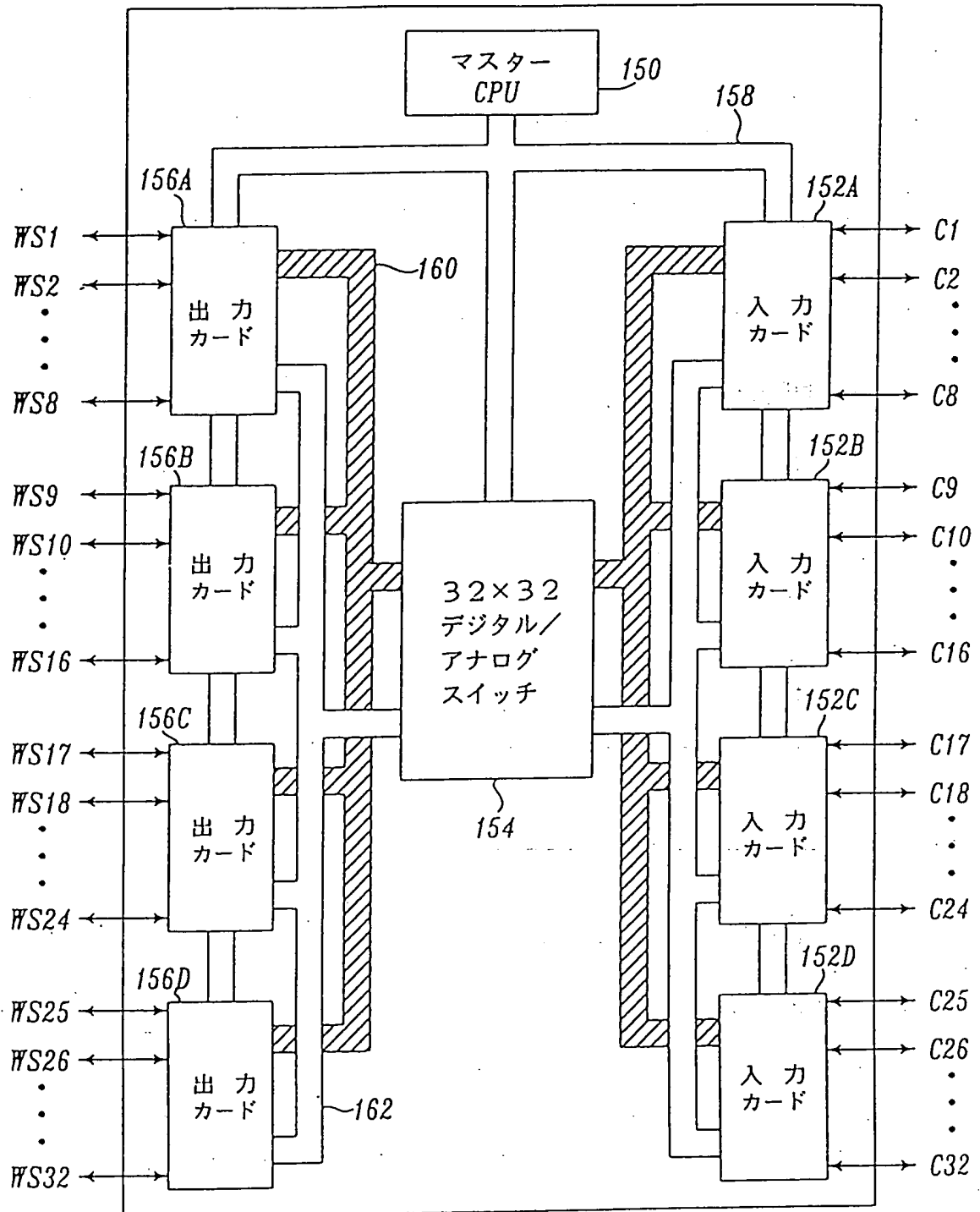


Fig. 4.

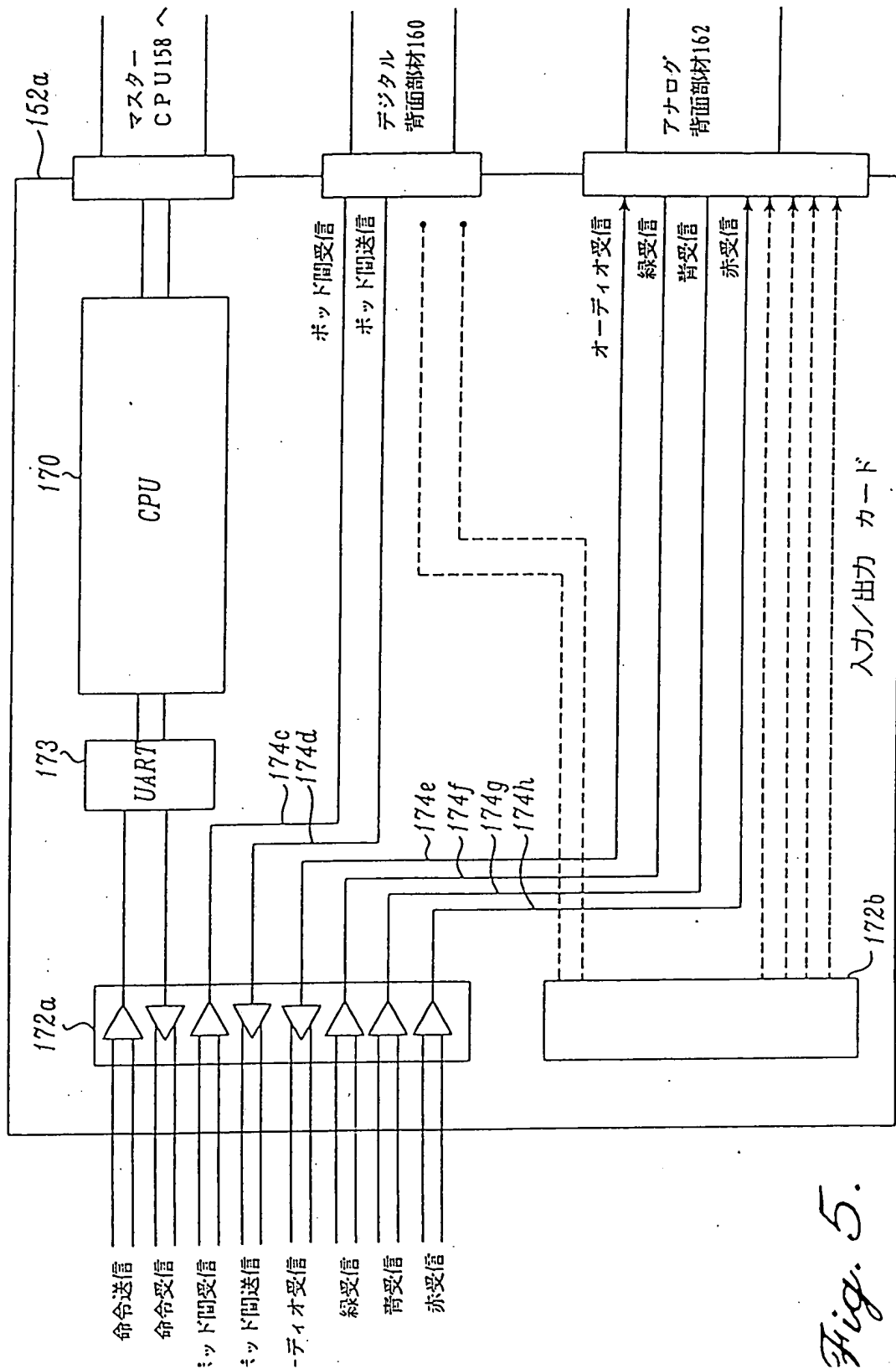


Fig. 5.

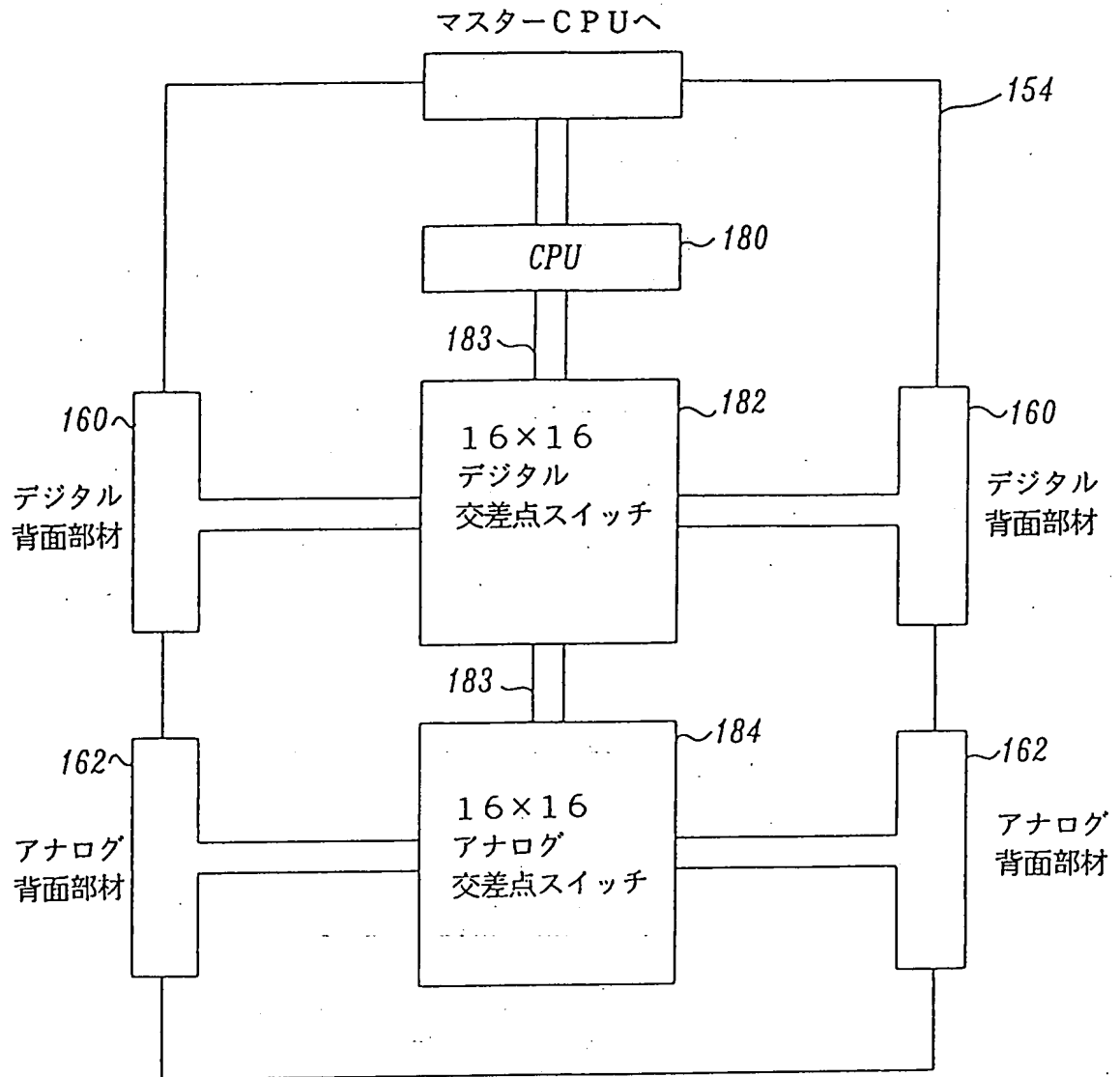


Fig. 6.

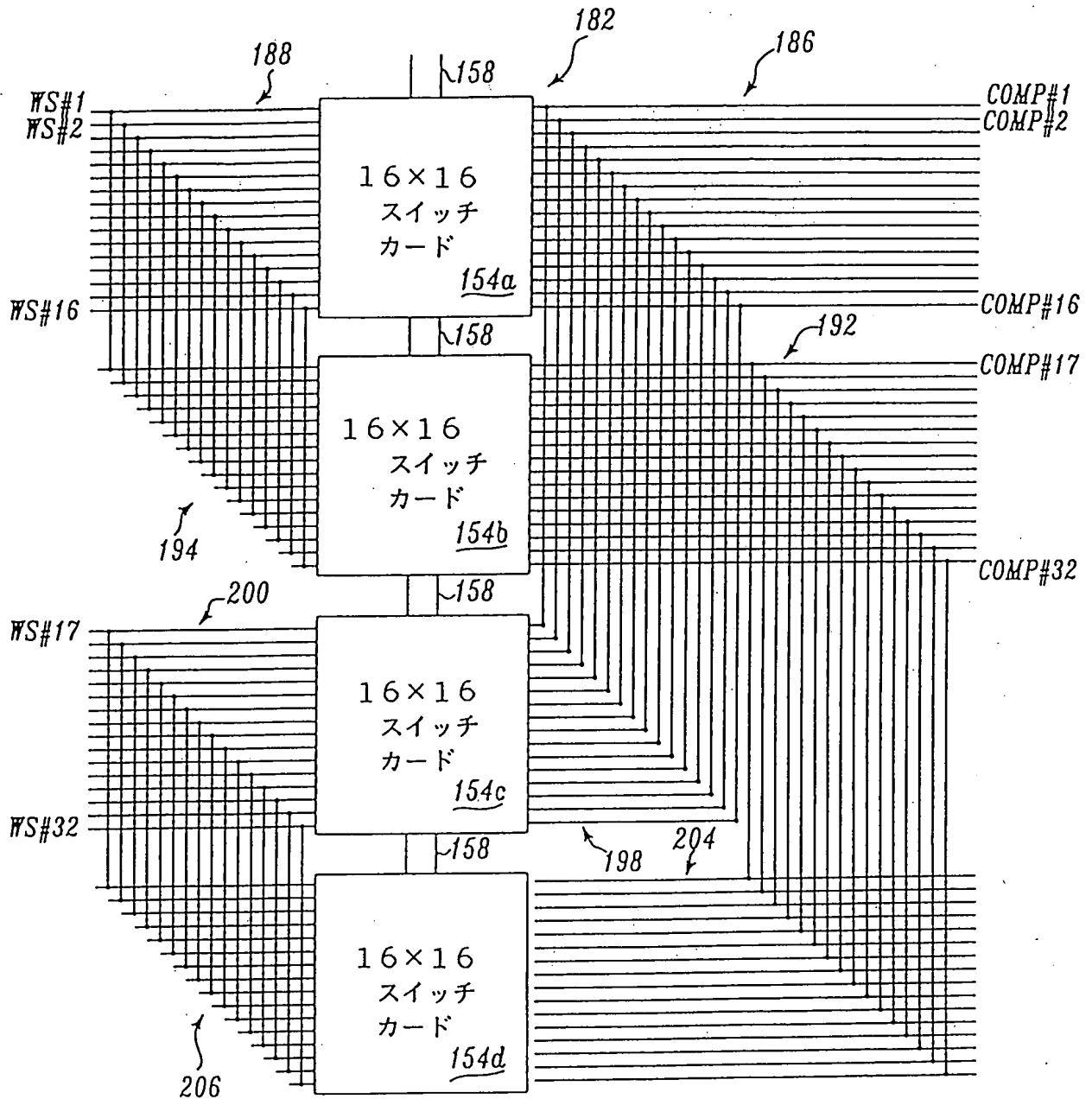


Fig. 7.

Fig. 8.

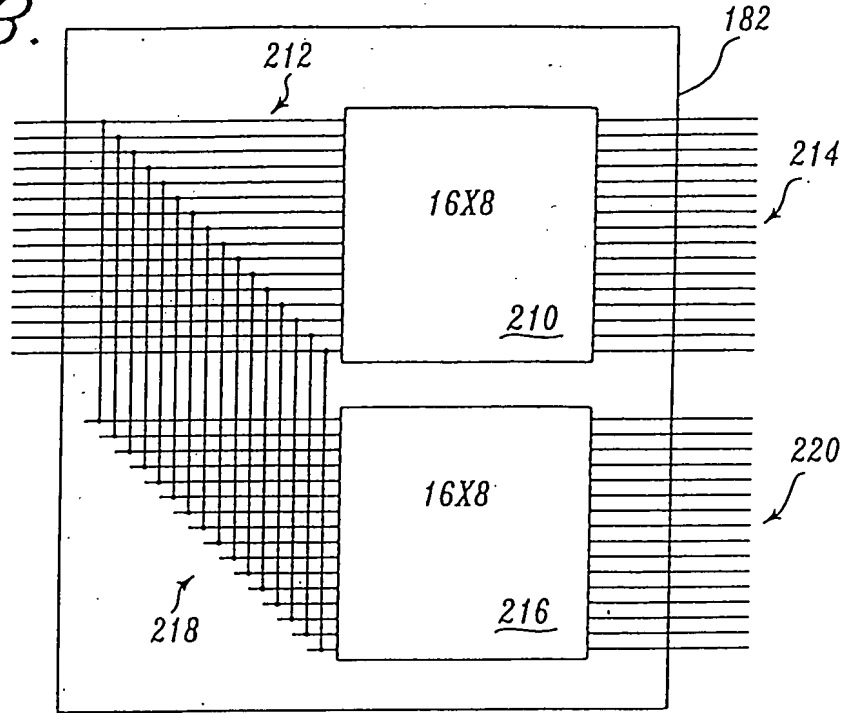
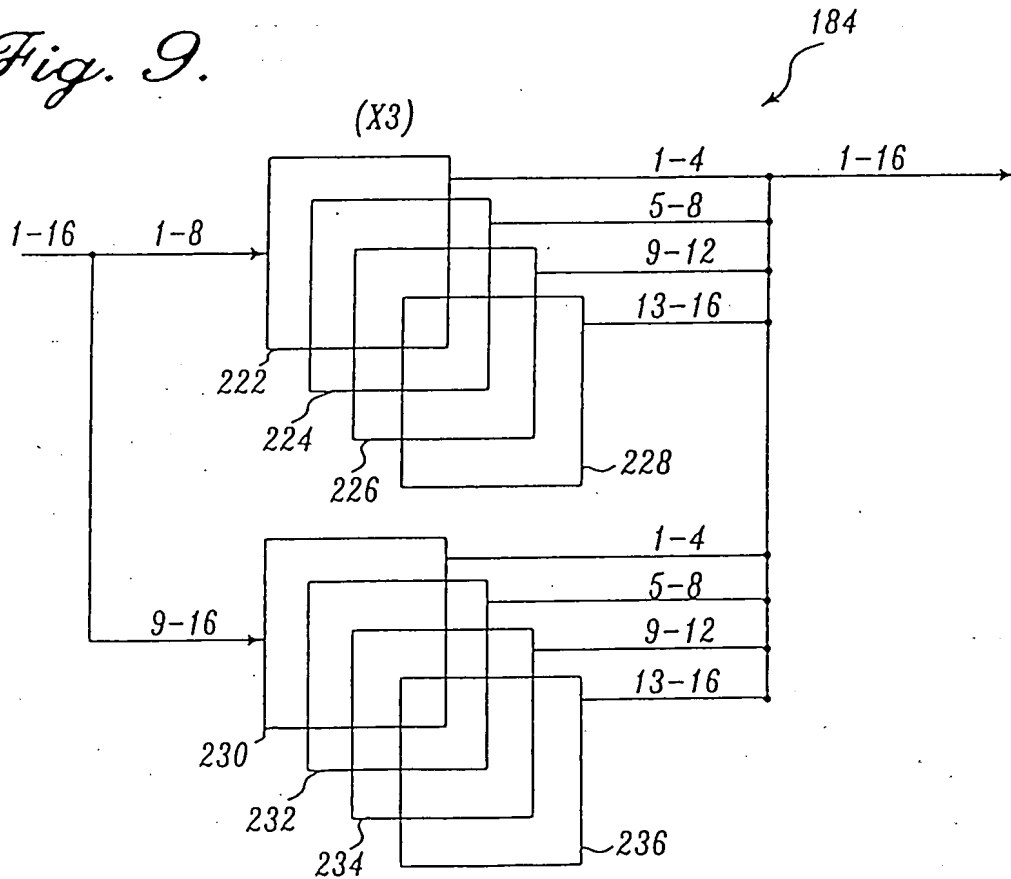
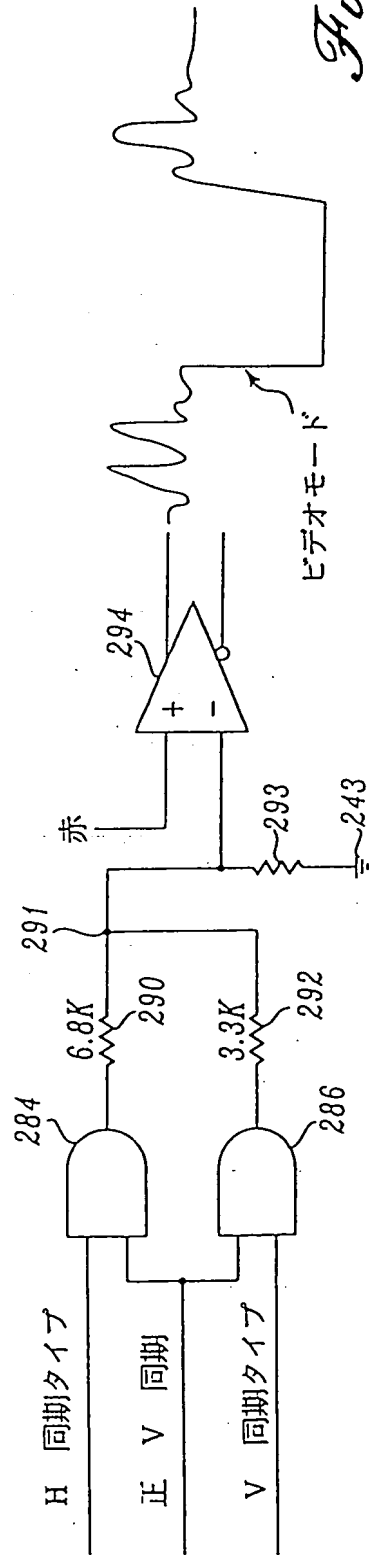
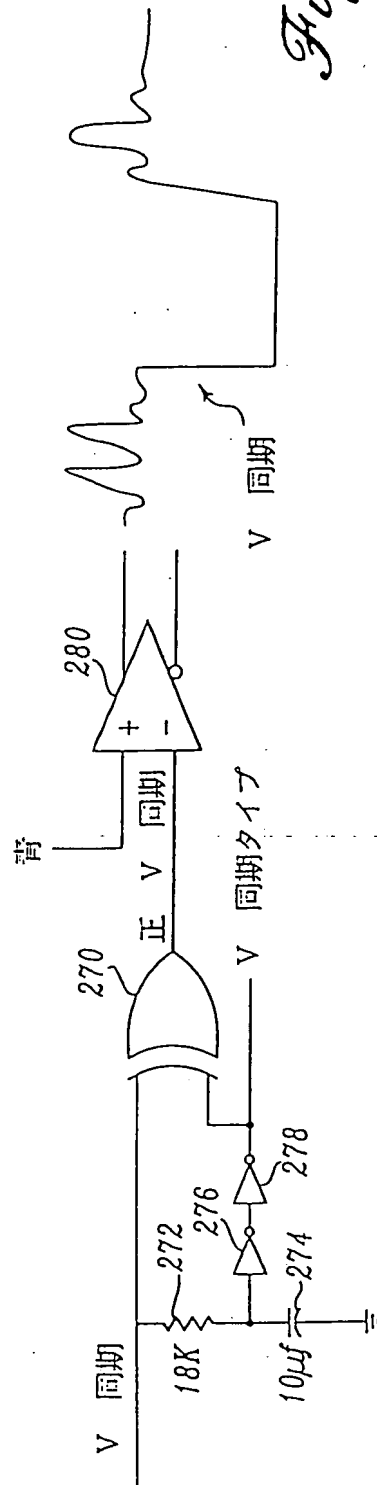
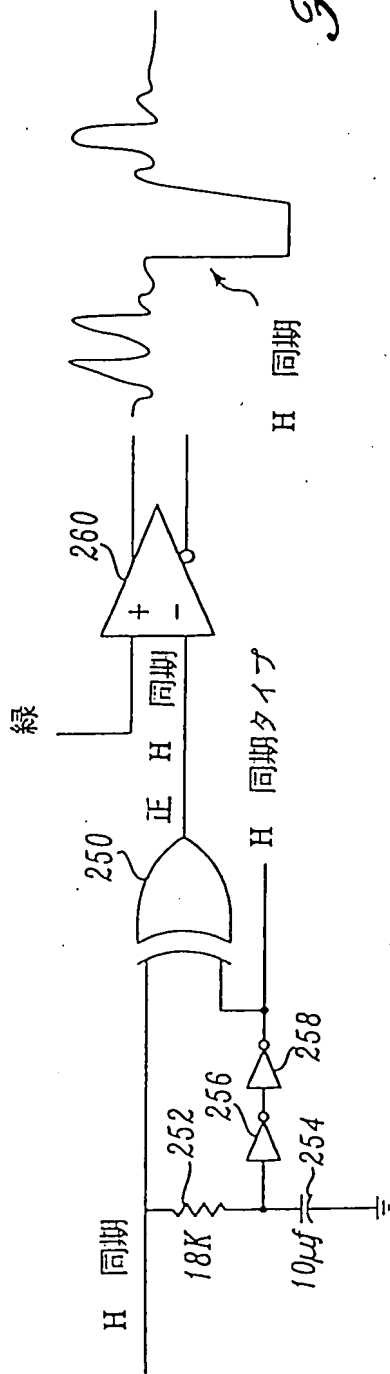


Fig. 9.





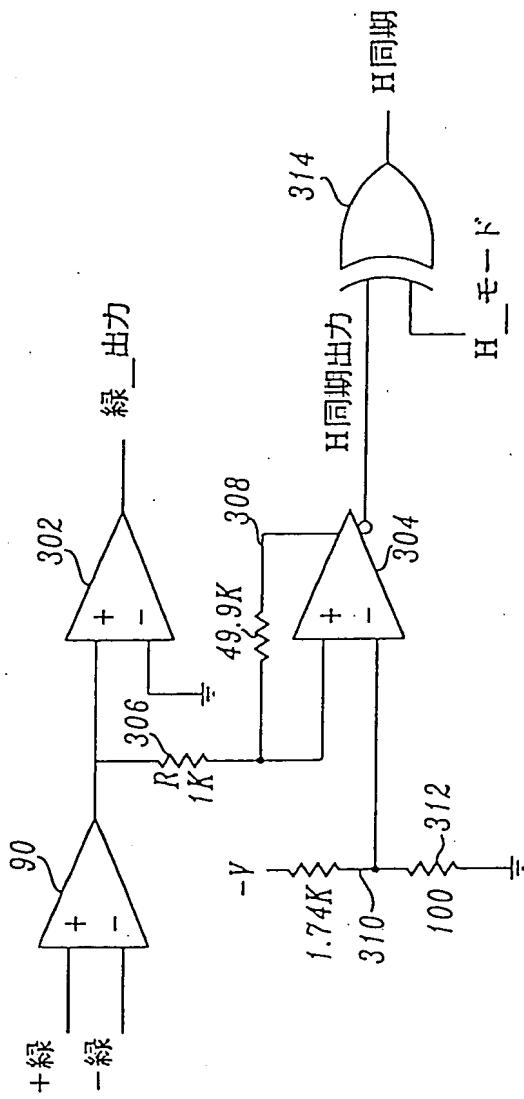


Fig. 11A.

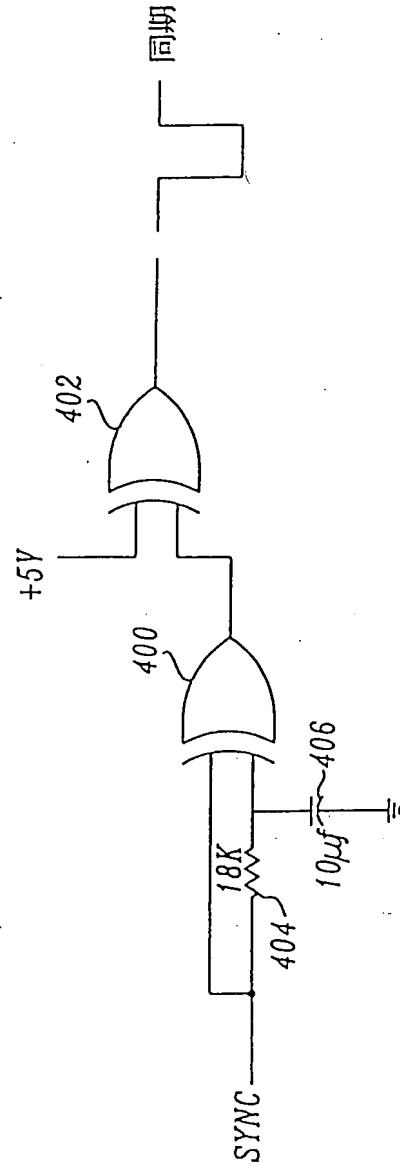


Fig. 12B.

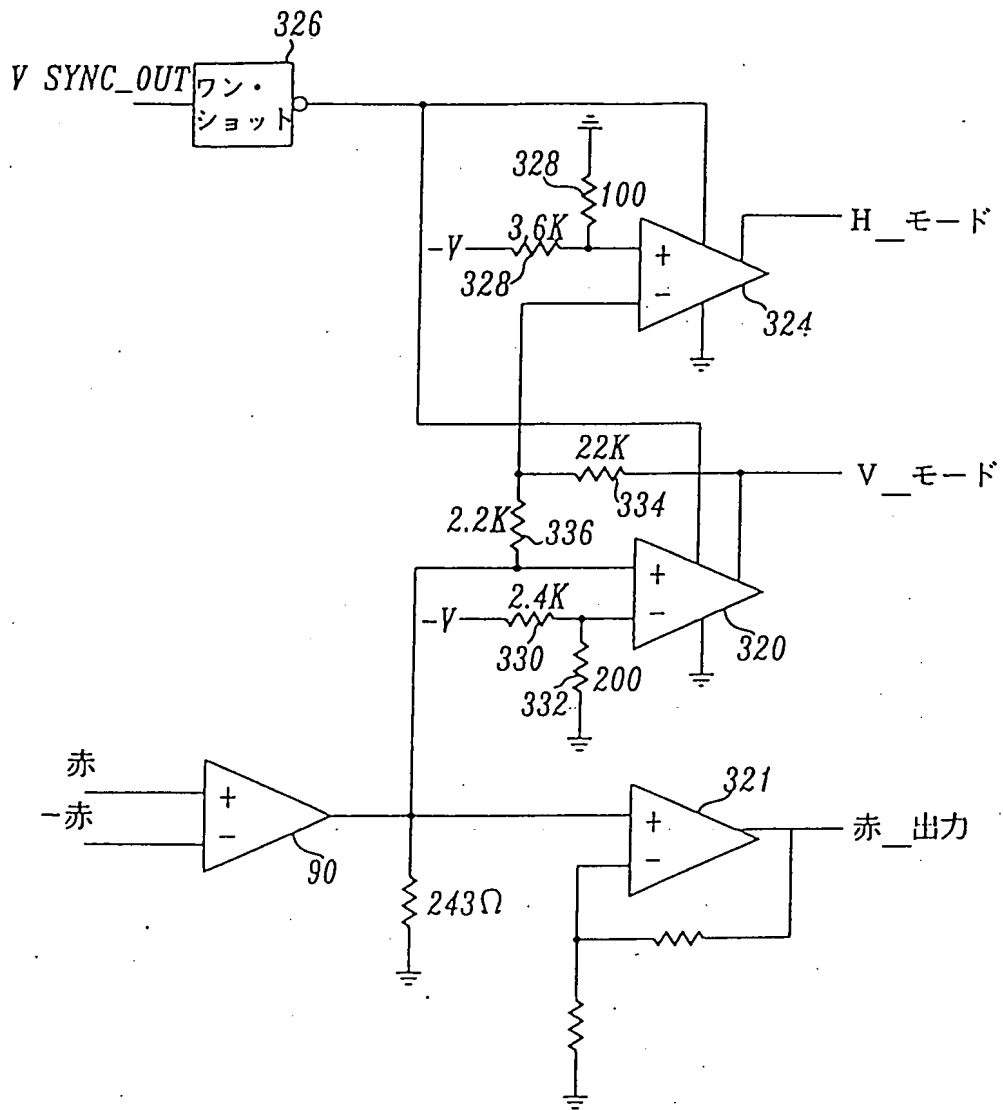
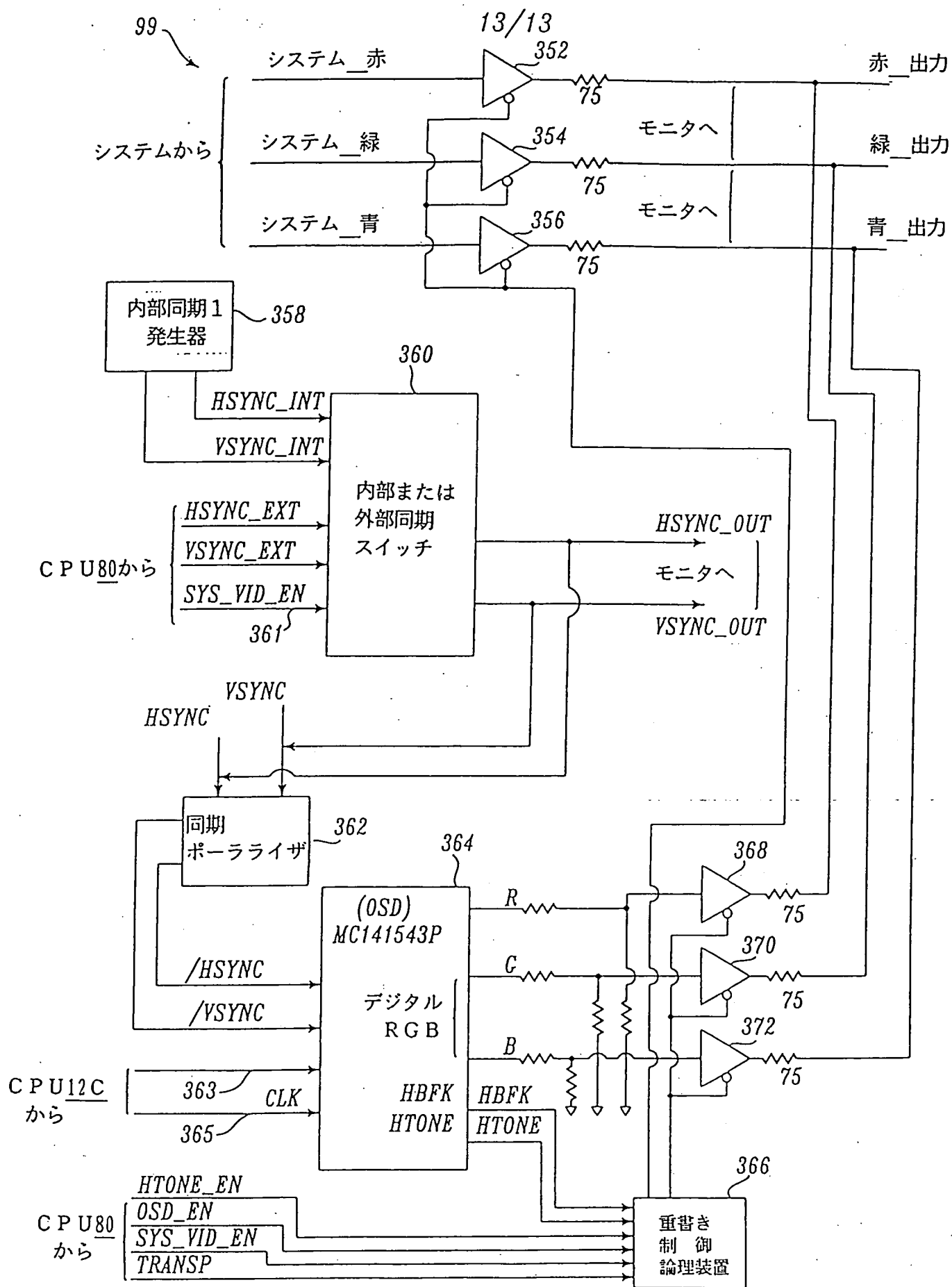


Fig. 11B.



発送日 16年 4月 6日 DATE?

## 取消理由通知書

9-510523

特許異議申立の番号	異議2003-72946
(特許の番号)	(特許第3412823号)
起案日	平成16年 3月30日
審判長 特許庁審判官	吉村 宅衛
特許権者	アボセント・レッドモンド・コーポレーション 様
代理人弁理士	鈴江 武彦 (外3名) 様

本件の、次の「コンピュータ接続システム」に係る特許は、合議の結果、以下の理由によって取り消すべきものと認められます。これについて意見がありましたら、この通知の発送の日から3ヶ月以内に意見書の正本1通及びその副本2通を提出して下さい。

## 理由

特許第3412823号の請求項1ないし40に係わる発明は、その特許請求の範囲の請求項1ないし40に記載された事項により特定されるとおりのものであると認められる。

そして、請求項１～４０に係わる発明は、その出願前日本国内または外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基づいて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、請求項１～４０に係わる発明の特許は特許法第２９条第２項の規定に違反してなされたものである。

## 記

- 刊行物 1 : 特開平 5 - 2 7 7 2 1 号公報  
刊行物 2 : 特開平 5 - 8 1 1 9 6 号公報  
刊行物 3 : 特開平 7 - 2 0 0 4 7 1 号公報  
刊行物 4 : 特開平 7 - 1 4 1 2 7 9 号公報  
刊行物 5 : 特開平 5 - 1 5 8 4 5 1 号公報  
刊行物 6 : 特開平 7 - 1 5 7 4 2 号公報  
刊行物 7 : 特開平 6 - 1 3 3 2 4 3 号公報  
刊行物 8 : 特開平 6 - 1 3 3 2 4 0 号公報  
刊行物 9 : 特開平 7 - 1 5 6 8 1 号公報  
刊行物 1 0 : 特開平 4 - 1 7 7 5 2 5 号公報  
刊行物 1 1 : 特開平 5 - 6 1 4 4 5 号公報

上記刊行物 1 には、キーボード (4 a 2 ~ 4 m 2) および表示器 (4 a 1 ~ 4 m 1) と制御部 (4 a 3 ~ 4 m 3) を具備している多数の操作端末機 (4 a ~ 4 m) が、インターフェース装置 (2 a ~ 2 n) 及びビデオ信号切替器 (3 a), 制御器 (3 b) を介して、多数の情報端末装置 (1 a ~ 1 n) に選択接続するビデオ信号選択システムにおいて、操作端末機のキーボードで操作端末、ビデオ信号切替器、情報端末装置を制御する構成が記載されている (特に、【0007】 ~ 【0019】の記載及び図 1 を参照。 )。

上記刊行物 2 には、キーボード (1 5 - 1 ~ 1 5 - 1 1), パソコンなどのデスクサイド端末制御部 (1 9 - 1 ~ 1 9 - n), 表示部 (1 4 - 1 ~ 1 4 - n, 2 1 - 1 ~ 2 1 - n) がワークステーションコントローラ (1 3 - 1 ~ 1 3 - n) に接続する複数のワークステーション (1 2 - 1 ~ 1 2 - n) が、スイッチマトリクスコントローラ (8), キーボードスイッチコントローラ (9), ソース端末 I/F 1 ~ n (5 - 1 ~ 5 - n) を介して、ソース端末制御部 1 ~ n (2 - 1 ~ 2 - n) に選択接続するビデオスイッチシステムにおいて、ワークステーションコントローラのキーボードで、ワークステーションコントローラ、スイッチマトリクスコントローラ、ソース端末制御部を制御する構成が記載されている (特に、【0003】 ~ 【0008】及び【0023】 ~ 【0037】の記載及び図 1 ~ 図 5 を参照。 )。

上記刊行物 3 には、ホストコンピュータと遠隔パソコンの表示を同じにする構成が記載されている。

上記刊行物 4 には、表示器を持つ複数のワークステーションや表示器を持つサーバなど遠隔地にあるコンピュータ間を直列データパケットで送受信するローカルエリアネットワークシステムが記載されている (特に、【0020】 ~ 【0032】, 【0117】の記載および図 1, 図 8 を参照。 )。

上記刊行物 5 には、ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、緑色信号に水平および垂直同期信号を載せることにより信号線の削減を図ること、及び、水平および垂直同期信号の極性により走査モードを識別すること、3 線式において走査モードを識別させる情報を載せることが記載されている。

上記刊行物 6 には、ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、緑色信号に水平および垂直同期信号を載せることにより信号線の削減を図ること、及び、緑色信号より水平および垂直同期信号を分離出力することが記載されている。

上記各刊行物 7 ~ 9 には、二つのビデオ信号を合成してディスプレイに表示するオンスクリーンディスプレイ (OSD) 表示装置が記載されている。

上記刊行物 1 0 には、キーボードとマウスと表示装置を複数の情報処理部と切換スイッチにより選択接続する構成が記載されている。

上記刊行物 1 1 には、CRT の画面に条件調整用画面を表示することが記載さ

れている。

(請求項1乃至6に係わる発明について)

上記刊行物1及び2に記載されているように、多数の受信端末で生成されるそれぞれのビデオ信号をユーザ側の端末のキーボードなどにより中央交差スイッチで選択制御してユーザ側のビデオモニタなどで表示することは周知慣用技術であり、上記刊行物1及び2に記載されている、受信端末は遠隔地からデータを得るものであるから、受信端末自体を遠隔地に配置する構成とすることは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる(必要であれば上記刊行物3の記載を参照。)。そして、直列データパケットで信号を伝送することは上記刊行物4に記載されているように周知慣用技術であり、伝送線路上に信号を送受信するインターフェース装置を設けることは当業者が必要に応じて適宜設ける程度の設計的事項であると認められる。

一方、一般に、ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、上記刊行物5及び6に記載されているように、色信号に水平および垂直同期信号を載せることにより信号線の削減を図ることは周知慣用技術であり、上記刊行物5及び6に記載されているように1つの色信号に水平および垂直同期信号を載せるか、本願発明のように2つの色信号にそれぞれ水平および垂直同期信号を載せるかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。

スイッチを制御して遠隔地に配置するコンピュータ画面をユーザ側で表示することと、ビデオ信号に水平および垂直同期信号を重畳させることは、ネットワーク技術とビデオ技術として独立した技術であるから、これらを組み合わせることに格別の困難性はない。

したがって、本願請求項1～6に係わる発明は上記刊行物1～6に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項7及び8に係わる発明について)

上記刊行物1及び2に記載されているように、多数の受信端末で生成されるそれぞれのビデオ信号をユーザ側の端末のキーボードなどにより中央スイッチで選択制御してユーザ側のビデオモニタなどで表示することは周知慣用技術であり、上記刊行物1及び2に記載されている、受信端末は遠隔地からデータを得るものであるから、受信端末自体を遠隔地に配置する構成とすることは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる(必要であれば上記刊行物3の記載を参照。)。そして、直列データパケットで信号を伝送することは上記刊行物4に記載されているように周知慣用技術であり、信号を直列データパケットで送受信するインターフェース装置を設けることは当業者が必要に応じて適宜設ける程度の設計的事項であると認められる。

一方、上記各刊行物7～9にそれぞれ記載されているように、ビデオ信号を生

成して重畳して表示することは周知技術であり、信号処理を、信号伝送路上に回路を設け行うか、信号を受信し端末側で行うかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。

したがって、本願請求項7及び8に係わる発明は上記刊行物1～4, 7～9に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項9～13に係わる発明について)

一般に、ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、上記刊行物5及び6に記載されているように、色信号に水平および垂直同期信号を載せることにより信号線の削減を図ることは周知慣用技術であり、上記刊行物5及び6に記載されているように1つの色信号に水平および垂直同期信号を載せるか、本願発明のように2つの色信号にそれぞれ水平および垂直同期信号を載せるかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。

したがって、本願請求項9～13に係わる発明は上記刊行物1～9に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項14, 15, 17, 19, 20, 22に係わる発明について)

上記刊行物1及び2に記載されているように、多数の受信端末で生成されるそれぞれのビデオ信号をユーザ側の端末のキーボードなどにより中央スイッチで選択制御してユーザ側のビデオモニタなどで表示することは周知慣用技術であり、上記刊行物1及び2に記載されている、受信端末は遠隔地からデータを得るものであるから、受信端末自体を遠隔地に配置する構成とすることは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる(必要であれば上記刊行物3の記載を参照)。そして、直列データパケットで信号を伝送することは上記刊行物4に記載されているように周知慣用技術であり、信号を直列データパケットで送受信するインターフェース装置を設けることは当業者が必要に応じて適宜設ける程度の設計的事項であると認められる。

一方、上記各刊行物7～9にそれぞれ記載されているように、ビデオ信号を生成して重畳して表示することは周知技術であり、信号処理を、信号伝送路上に回路を設け行うか、信号を受信し端末側で行うかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。また、上記刊行物10に記載されているように、ビデオ信号を切り換え表示する構成も周知慣用技術であり、ビデオ信号を切り換える際にはそのビデオ信号に対応した水平および垂直同期信号に切り換える必要があることは明らかである。

したがって、本願請求項14, 15, 17, 19, 20, 22に係わる発明は上記刊行物1～4, 7～10に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項16, 18, 21, 23に係わる発明について)

上記刊行物10に記載されているように、ビデオ信号をバッファ回路により切り換え制御する構成は、周知慣用技術である。一方、上記各刊行物7～9にそれぞれ記載されているように、ビデオ信号を生成して重畳して表示することも、また、周知慣用技術であり、上記刊行物11に記載されているように制御用画面をモニタに表示することも、周知慣用技術である。

これら上記刊行物7～11に記載されている周知技術を組み合わせ、ビデオ信号を適宜選択、合成出力することは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる。

したがって、本願請求項16, 18, 21, 23に係わる発明は上記刊行物1～4, 7～11に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項24, 35, 36, 37, 39に係わる発明について)

上記刊行物1及び2に記載されているように、多数の受信端末で生成されるそれぞれのビデオ信号をユーザ側の端末のキーボードなどにより中央スイッチで選択制御してユーザ側のビデオモニタなどで表示することは周知慣用技術であり、上記刊行物1及び2に記載されている、受信端末は遠隔地からデータを得るものであるから、受信端末自体を遠隔地に配置する構成とすることは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる(必要であれば上記刊行物3の記載を参照)。そして、直列データパケットで信号を伝送することは上記刊行物4に記載されているように周知慣用技術であり、信号を直列データパケットで送受信するインターフェース装置を設けることは当業者が必要に応じて適宜設ける程度の設計的事項であると認められる。

一方、上記各刊行物7～9にそれぞれ記載されているように、ビデオ信号を生成して重畳して表示することは周知技術であり、信号処理を、信号伝送路上に回路を設け行うか、信号を受信し端末側で行うかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。

したがって、本願請求項24, 35, 36, 37, 39に係わる発明は上記刊行物1～4, 7～9に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項25, 29～33に係わる発明について)

一般に、ビデオ信号は赤色、緑色および青色ビデオ信号、並びに水平および垂直同期信号を含み、上記刊行物5及び6に記載されているように、色信号に水平および垂直同期信号を載せることにより信号線の削減を図ることは周知慣用技術であり、上記刊行物5及び6に記載されているように1つの色信号に水平および垂直同期信号を載せるか、本願発明のように2つの色信号にそれぞれ水平および垂直同期信号を載せるかは、当業者が必要に応じて適宜選択する程度の設計的事

項であると認められる。色信号に水平および垂直同期信号を合成させた場合、当然、同期信号を検出する回路が必要であることは明らかである。

スイッチを制御して遠隔地に配置するコンピュータ画面をユーザ側で表示することと、ビデオ信号に水平および垂直同期信号を重畳させることは、ネットワーク技術とビデオ技術として独立した技術であるから、これらを組み合わせることに格別の困難性はない。

したがって、本願請求項 25, 29～33 に係わる発明は上記刊行物 1～9 に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項 26 に係わる発明について)

一般に、コンピュータへの入力手段としてキーボードとマウスを用いることは周知慣用技術であり、上記刊行物 1 及び 2 に記載されているようなキーボードによる制御とするか、請求項 26 に係わる発明の構成のようにマウスによる制御とするかは、当業者が必要に応じて適宜採用する程度の設計的事項である。

したがって、本願請求項 26 に係わる発明は上記刊行物 1～4, 7～9 に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項 27 に係わる発明について)

ビデオ信号を一時蓄えるフレームバッファを設けるか、設けないかは、ビデオ信号の種類に応じて、当業者が適宜選択する程度の設計的事項であると認められる。

したがって、本願請求項 27 に係わる発明は上記刊行物 1～4, 7～9 に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項 28 に係わる発明について)

データを伝送する際に、送信側の機器のデータフォーマット体系から受信側のデータフォーマット体系へ変換することは周知慣用技術である。よって、上記刊行物 1 及び 2 に記載された発明においても、データフォーマット体系を変換する装置をデータ伝送線路上に設けることは当業者が容易に想到し得た程度のものと認められる。

したがって、本願請求項 28 に係わる発明は上記刊行物 1～4, 7～9 に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

(請求項 34, 38, 40 に係わる発明について)

上記刊行物 1 及び 2 には、デジタル信号線路とアナログビデオ信号線路が設けられている構成が記載されている。

したがって、本願請求項 34, 38, 40 に係わる発明は上記刊行物 1～4, 7～9 に記載されている発明に基づいて当業者が容易に発明し得たものと認められる。

この通知に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

審判部第27部門 内田 正和

電話03(3581)1101 内線3727

ファクシミリ03(3580)8017